

札幌社保協 FAXニュース

2013年 2月15日(金)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
2/28(木)です

生活保護・年金の切り下げをするな!

今年初の年金支給日となった2/15、札幌市中央区のパルコ前では道社保協・年金者組合・生活と健康を守る会等が、生活保護基準や年金の切り下げに断固反対する宣伝・署名を行いました。

生活保護740億円の削減

生活保護費は3年間で740億円の引き下げ—平均7.4%削減・子ども2人の4人世帯では月2万円の引き下げ—という、生存権を脅かす大幅な削減です。今でさえ生活保護世帯の子ども達の貧困の連鎖、葬式にも行けない高齢者の保護世帯の実態があるにもかかわらず、さらに引き下げるのは生きる権利を奪うものです。



3年間で2.5%の年金引き下げ

年金は2012年度も下げられているのに、今年の10月から3年間で2.5%の引き下げを行おうとしています。低年金で食事を削って生活している高齢者をさらに追いつめるものです。年金が下げられ、介護・国保・後期高齢者医療保険料などは上がり、高齢者のくらしは踏んだり蹴ったりです。

生活保護・国保などの改善を要求 —道生連札幌市交渉—

道生活と健康を守る会連合会の札幌市交渉が2/8行われ、市内単組や札幌・道社保協など100人が参加しました。

生活保護の改善について

2012年1月の姉妹孤立死事件以後、保護申請には一定の改善が見られますが、いまだに窓口では問題が。「申請に来たと言っているのに、相談



です」と言われる」「申請意思をはっきり示しているのに、長々と経歴などを聞かれる」「窓口で受けられるかどうか判定のようなことを言われる」などの事例が指摘されました。市の生活保護担当部長は、「申請に対して申請権の侵害に当たるようなことはいけない。面接では分かりやすく、生活歴なども申請後に聞けばいい話である。要否判定を窓口ですべきではない。研修などで徹底したい」と回答。

就労指導でも「期限付きで自立計画書をつくれ」と言われた」「何とか必死で働いているのに増収指導を強要された」事例に対し、「就労指導は行うが、期限を切るようなやり方は正しくない」と回答。

国保一部負担減免の要綱に基づかない市のマニュアルと申請却下について

国保一部負担減免の要綱では、収入が20%以上減少した時に対象とされているにもかかわらず、一部の区では「所得」を根拠にして、元々収入が少なく所得ゼロの人が20%の収入減になっても所得はゼロのまま変動がないために申請を認めないという態度をとっています。他の区では収入20%減少を対象としており、要綱改定時の市の説明会でも所得については一切ふれていませんでした。

国保担当部長は職員マニュアルでは所得で見ていること、指摘されている事例も認めましたが「課題があると受け止めている、しっかり検討したい」と繰り返しました。参加者から「実際に却下されている事例はどう扱うのか、今日明日の申請はどうなるのか」「検討はいつまでか」などの追及に、市側は「早い時期に示したい」と述べるにとどまり前進が見られないため、引き続きの課題となりました。

まともな暮らしを保障しろ!
困ってる人、みんな集まろう!
1000人集会

3月2日(土) 14時~
札幌市教育文化会館大ホール

メインゲスト

宇都宮健児さん

(反貧困ネット代表・前日
弁連会長)

集会後、会場~すすきのまで
パレード

参加無料、相談コーナーあり

2/13市議会
開 会 日

市住家賃減免改悪をやめて！ 公契約条例の制定を！

2/13から第1回定例札幌市議会が始まりました。道生連・札幌社保協は、本会議開会前に市住入居者など21人で市議会各会派へ「市住家賃減免の『見直し』は入居者のくらしを圧迫するのでやめてほしい」と要請を行いました。自民党は建設委員長が受け取りましたが「委員会で議論をしていく」と述べました。共産党は井上団長など3人が受け取り「全力を尽くす」と答えました。

「公契約条例」制定を！市庁舎前朝宣伝

朝の市職員出勤に合わせて、札幌地区労連は「公契約条例の制定」を求める宣伝を組合員10人が参加し市庁舎前で行いました。木村事務局長が「公契約条例の制定で行政が発注する仕事の最低賃金を守り、官製ワーキングプアをなくそう」と訴えました。

70～74歳の医療費負担増の中止意見書を！

札幌社保協は市住家賃減免改悪反対の会派要請に合わせて、国に対し「70歳から74歳高齢者の医療費窓口負担増の中止を求める意見書」を市議会として国へあげてほしいと各会派へ要請しました。



社会保障改悪・消費税増税反対！ 原発ゼロ、介護・看護職員ふやせ！



2/10勤医協中央病院共闘主催の恒例「雪まつり宣伝」が札幌三越前交差点でとりくまれ、中病・労組等、「介護に笑顔を！道連絡会」、道民医連等80人以上が参加しました。「原発ゼロ」「社会保障と税の一体改革反対」「介護・看護職員の増員」署名を呼びかけながら、シール投票も行いました。雪まつり最中で全国からの観光客だけでなく外人も多く、署名してくれたオーストラリア人もいました。

署名は原発ゼロ39筆、消費税増税反対39筆、介護の改善51筆の他カンパも寄せられました。投票では消費税増税反対26、賛成8、原発いらぬ31、いる4票という結果となりました。

東区交渉

生活保護、国保・介護の改善を！

2/5東区守る会・東区社保協は東区の各部署と福祉関係について交渉を行い、31人が参加しました。

生活保護就労強要をせずやケースワーカーのていねいな対応を！

難病や心の病の人に対しても健康条件を配慮しないきびしい指導がされていること等に対しては、「本人の意思を尊重し意に反して強制をしない」と回答。ケースワーカーのひどい言動や行き過ぎたプライバシーの介入についても、指導や研修を行うと回答。現在1人のケースワーカーで95・6人を担当しており増員の要望を出しているとのことでした。



行きすぎた国保滞納処分をやめ、医療の必要な人には保険証を！

国保料を払えない人が増加している中、行きすぎた督促や差押えをやめるように～「東区は極力話し合いでやっており差し押さえは多くない」と回答。また「緊急で医療の必要な人には短期保険証を発行」と答えましたが、勤医協中央病院の相談室から「相談に来る患者は窓口で8万円払わないと保険証を出さないとされた人もいる。区の担当者は国の通知を承知しながら、払わせる駆け引きを行っている」と事例での指摘がありました。勤医協在宅からは高すぎる介護保険料の引き下げを要望しました。